

塾報 しゅうめ

第38号
2015 vol.

平成27年9月10日
発行 塾長 上谷 恭範
〒111-0052
台東区柳橋1-26-3
TEL 03(3862)9218

「わたしの誕生から戦中、戦後」

―戦後70周年にあたって―(前回の続き)

日本国憲法と集団的自衛権

塾長 上谷 恭範

前回(塾報第37号)の続きとして、まず昭和14年に私が誕生して、昭和20年8月15日に太平洋戦争が終わった日までの戦争の史実を簡単に述べてみる。私は宮崎県本庄町(現在は国富町)の生まれである。

私が誕生した昭和14年11月には、第二次世界大戦が始まって3ヶ月が経過しようとしていた。昭和14年9月1日ナチス、ヒットラーの率いるドイツ軍が隣国ポーランドに侵攻したのである。当時の日本は2年前の昭和12年7月7日、中国北京郊外の盧溝橋で日中両軍が交戦し日中戦争が始まり、翌13年4月1日国家総動員法が成立し、着々と戦時体制ができていた。2歳をむかえた昭和16年12月8日、米英に宣戦布告し、太平洋戦争が始まったのである。大勝利を収めた日本はその後アジア太平洋への支配を拡大させていった。

しかし、昭和17年6月中部太平洋ミッドウェー島沖での日米主力艦隊の激戦で主力空母4隻を失う等の大敗以降、戦局は徐々に悪化していく。3歳になった頃には戦況はさらに悪化、昭和18年2月1日ガダルカナル島撤退、4月18日、真珠湾攻撃を指揮した山本五十六連合艦隊司令長官がソロモン諸島上空で米空軍の攻撃により戦死。5月アッツ島玉砕。このころ東京の疎開計画が始まる、各地に防空壕が掘られる、「防空頭巾」「買い出し」「玉砕」等のことばが流行語となる。

4歳の時、昭和19年6月19日マリアナ沖海戦で惨敗、7月7日サイパン島、8月10日グアム島・テナン島玉砕10月23日レイテ沖海戦壊滅。

5歳の時、神風特別攻撃隊第一陣出陣・出撃、そして11月24日マリアナ諸島の米軍基地から米軍機B29約70機が初めて東京を空襲。このころの流行語は「同期の桜」「予科練」「竹製のランドセル」「すいとん」「雑炊」等々。

そして終戦の年昭和20年をむかえる。前回述べた3月9日の深夜から10日未明、東京大空襲(死者約10万人、焼失家屋約23万個)。4月1日米軍が沖縄本島に上陸、6月23日沖縄守備隊全滅(軍人・

民間人死者約20万人以上)。そして8月6日、B29が広島に原爆投下(ピカドンと呼ばれた)死者約12.2万人。8月9日長崎に2度目のピカドン投下、死者7.4万人。宮崎の田舎にも飛行場が2・3ヶ所あったからかしばしば役場に設置された空襲警報機から昼夜を問わずサイレンが鳴りひびき、家族全員、私は家族に抱かれて裏の防空壕にかけこんだことはよく記憶している。また暑い夏の日には川へ泳ぎに行った時のこと、一機の飛行機が逃げまどう私達を追いかけ、草むらに飛び込み怯え涙ぐんでいたこともある。

8月15日猛暑の正午、裏庭に置かれたラジオのまわりに隣近所の人たちが集まってきた。当時ラジオのない家も多かった。ラジオの音もピーピー鳴って聞き取りにくいモノだった。また内容も5歳の少年に理解できるものでもなかった。ただ、「戦争は終わった」という7文字の意味は周りの人たちのひそひそ話して分かった。そのときの大人の表情は思い出せない。落胆だったのか、喜びだったのか、それとも不安だったのか。後年知ったが、これが玉音放送だったのだ。「：朕は時運の赴く所堪え難きを堪え、忍び難きを忍び：」

その時から平成27年8月15日まで70年の歳月を経た。私の父は昭和19年徴兵令で出兵、昭和20年復員、しかし当時不治の病といわれた病気に冒されていた。その後2年余り病床に伏し、昭和22年12月31日大晦日に35歳の若さで死去したのである。子どもら5人を残して：。戦病死という称号(?)扱いとして：。私が8歳の小学2年生の時である。

翌年の昭和21年、町の本庄国民学校に入学した。戦後7ヶ月のとき、まだ戦後の教育基本法も確立されてなく、先生たちも何を教えているのか分からず、ただ単純なよみ・かき・そろばんのみの授業であった。

次に終戦直後、小学1・2年生のころの記憶をたどってみたい。ひもじい。はらへった。からいも(さつまいも)に米粒のついたご飯ではなく、白米が食べたい。お砂糖なめたい。クラスで弁当を食べられない仲間が数名いた。

学校で給食が始まったのはいつだったか記憶にないが、脱脂粉乳がやたらおいしかった記憶はある。教科書は戦前のもので、意味も分からず、習字用の筆であちこちを黒く塗り、また米粒をのりにペー지를貼り付けたテキストだからますます分からない。算数のたし算、ひき算は習ったが、引き算で左隣から10を借りてくることかなかなか分からなかった。理科社会を系統だてて教わった記憶はない。ただ、体育だけは広々とした運動場を思う存分走り回っていた。

学校へ通う時は、はだしである。靴なんかない。霜の立った運動場をザックザックとはだしで歩く。足洗い場があって、先にきた人が洗った後の真つ黒になった水で足を洗い教室へ入る。廊下はみんなの汚れた足で、足跡が真つ白く残っており、よく廊下を雑巾がけさせられたものである。

正規の先生は戦争中、戦地へ赴き戦死された方々が多く、通称代用教員という先生に教わったりした。しかしこの先生方は人気があり、よく先生の家に言って遊び、食べさせてもらったりして授業よりも楽しかった。

そして、一番楽しかった時は40日間の夏休みである。午前中薄っぺらい夏休みの宿題帳と日記を書き、昼からせみ取り、ちようちよの採集、川遊び、そして夏休み終わりの二期期の教室でどれだけ真つ黒になったかを競い合ったりしたものである。このころも自由研究はあったが、私は毎年昆虫採集をして、特にめずらしいちようちよを標本にし、図鑑で名前を調べ、幾度か賞をもらったことのみ記憶している。

私がきちんとしたカリキュラムに則った授業を受けたのは終戦7年後の昭和27年4月本庄中学校に入学してからの事である。社会も理科も英語と同様にまったく新しい知識であり、小学生で教わるべき基礎教育が欠如していたことは残念である。

以上が私が生まれた戦中・終戦直後、そして小学生時代のおぼろげな記憶である。戦争は勝っても負けても絶対にはならないし、讚美してはならない。戦中戦後を生き延びた私達には、戦争の悲惨さ・平和の有難さを子や孫、子孫代々にわたって引き継いでいかねばならない。そして日本国憲法第9条とその精神を皆さんに発信していく責務がある。

では戦争のない社会・世界にするにはどうすればよいのだろう。国家が戦力を持たなければ良い?核兵器等の大量破壊兵器を全廃すればよい?戦争しそうな国家間、民族間、宗教間の対立を国連軍が解決に乗り出せば良い?いや国連が平和外交に乗り出せばよい?みなさんはどう考えますか?今問題になっている安保法制の一例、アメリカ軍が第三国と戦争状態にあり、日本国民の幸福追求、自由が奪われるような存立危機にあればアメリカ軍の後方支援のため自衛隊が出動することで戦争に巻き込まれていくとは言えないか。みんな考えてみよう。戦争のない世界を。

「あの悪夢のような戦争 身の毛もよだつ凄絶悲惨 せいぜつひき

肉親を人の子を かえり見るさえ耐えがたい眞情

誰か平和を祈らずにいられよう：」

「右手は原爆を示し、左手は平和を、顔は戦争犠牲者

冥福を祈る：」

(長崎の原爆投下地に建立された平和祈念像作者

彫刻家 西望 望人



『なるほど！防災セミナー』開催

大泉 清

地震、火山噴火、豪雨、竜巻などの自然災害が最近、多くなってきた
 地震、火山噴火、豪雨、竜巻などの自然災害が最近、多くなってきた
 と思いますか。これらは、地球の地殻変動や気象変動が原因となつて
 います。平成23年3月11日に発生した東日本大震災以後、昨年も広島
 市の住宅街を深夜に襲った土石流、登山者に多数の犠牲者が出た御嶽山
 火山噴火災害など大きな災害が続出しています。日本はこうした自然災
 害の種類と起きる頻度が多い国なのです。私たちは自然と共に生き、自
 然の恵みを受けてきましたが、自然は時としてこうした災害をもたらす
 ことを忘れてはいけません。人が自然をコントロールすることは不可能
 ですが、災害を防ぎ、その被害を軽くすることは人間の知恵で可能です。
 自然と闘うのではなく、災害を防ぐ、即ち防災の意識が大事になってき
 ます。

こうした視点に立つて、夏休みの夏季講習特別公開授業「なるほど！
 防災セミナー」を8月22日(土)の午後2時から浅草橋区民館6階で
 開きました。講師はNPO法人防災情報研究所の高橋透理事。高橋さん
 は建設省・国土庁(現国土交通省)で防災技術や防災情報研究に長く従
 事した防災のエキスパート。インドネシアの防災事業には4年間の長期
 派遣の経験の持ち主です。セミナーには浅草橋教室、高砂教室、番町教
 室の小学生から中学生が20名以上参加、保護者も2名参加しました。

高橋さんのお話はず、地球の大きさや内部から始まりました。地球
 の内部の構造は、卵に似ているとのこと。地殻(地球の表面の岩石)は
 卵の殻、マントル(岩石などの層)は白身、さらに内部の厚いコア(主
 に鉄が溶けた液体)は黄身といった説明。オリジナルな画像やアニメも
 映し出されて、参加した塾生たちに分かりやすい解説で、受験に役立つ
 お話でした。岩石が固まったマントルはゆっくりと地球の内部を流れて
 おり(対流)、地殻のプレート(板)と一緒に動いていき、このプレッ
 トがぶつかったり、その後跳ね上がったたりすると地震の原因となる、と
 いった解説は保護者も納得した顔付きでした。

10分ほど休憩の後には火山噴火のお話。地下100キロにあるマグマ(岩
 石が溶けた高熱のドロドロした液体)が地球のプレートを破って起きる
 火山のメカニズムや火砕流など、こちらも受験に役立つお話。1996
 年に噴出した長崎県雲仙の普賢岳、その火砕流の速さは、当時の動画が
 再現され火山災害の怖さを知りました。また、2000年前のイタリ
 ア・ポンペイ噴火被害の写真、1980年のアメリカのセント・ヘレン
 ズ火山爆発などの動画もあり、興味の尽きない話の連続。もちろん、1
 707年の富士山の宝永噴火で江戸に数センチの火山灰が積もった話
 もありました。

最後は災害に遭った時の命を守るコツ。「避難経路を知り、上手に逃
 げることが一番」と、高橋さんは強調。災害は忘れた頃にやってくる。
 このセミナーで学んだことを今後の防災活動に生かしたい。

第5回 ロボット教室全国大会 in 東京大 学

神保 克明
 佐藤 昌央

毎年8月に開催しているヒューマンアカデミーキッズサイエン
 スロボット教室全国大会が、東京大学 伊藤国際学術研究センタ
 ーで開催されました。大会の内容は、「アイデアコンテスト」と「テ
 クニカルコンテスト」の2部門。全国に8,000名以上いる生
 徒の中から「アイデアコンテスト」16名、「テクニカルコンテ
 スト」12名が出場。会場には1,000名以上の観覧者が詰めかけ
 た。

アイデアコンテストは、個々の感性をぶつける勝負の場！
 ベーシック、ミドル、アドバンスとレベルの違いがロボットが出場
 しました。単に良いものを作っただけではなく、工夫と調整、自
 分の思いを伝えるプレゼンが重要視されていた。大人顔負けのプ
 レゼンをする受講生もいました。

アドバンス最優秀賞は名古屋西下萱津教室13歳の手を叩くと
 方向転換するロボット「ワイヤレスコントロールカー」。

今大会でMVP賞を獲得したのは、狭山池前教室の13歳の受講
 生が作った「コピーカー」。

紙に書かれた黒い文字を光センサーで読み取り、同じように紙に描
 くロボットだ。プレゼンでは「8」の字をコピーすることに成功。
 テクニカルコンテストで優勝したのは、西宮えびす教室の12歳
 の受講生。黒い線が引かれたコースを、光センサーで読み取り走る

☆小6・中3受験生対象☆

秋から始める！『ホリデー受験対策講座』

【全8回】

9/21(月祝)・22(火祝)・23(水祝)

10/11(日)・12(月祝)

11/3(火祝)・23(月祝)

12/23(水祝)

【場所】修明塾 浅草橋教室

【時間】14:00 18:00(1回2科目)

※料金・カリキュラム等詳細につい
 ては、各教室で配布するお知らせ・
 HPをご覧ください。

1月・2月は、入試直前講座を開講

修明学園グループお薦めの私立校(五十音順)

国府台女子学院・香蘭女学校

中村中学高・文化学園大学杉並中高

明星学園中高・三輪田学園中高

2015 修明

9月 10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9 / 1(火曜) 9月通常授業開始

9 / 2 1~2 3(祝日) 小6・中3受験生対象『ホリデー受験対策講座』

9月下旬~10月中旬 中学生対象『2学期中間テスト対策勉強会』

☆数学検定合格者一覽☆

修明学園 準会場認定

(平成27年度・第1回・7月11日実施)

7 6 5 4 3 2
 級級級級級級

1 1 3 2 3 1
 名名名名名名
 合格合格合格合格合格合格

以上11名

【1次合格】

2級：1名 準2級：1名

(個人情報保護のため、HP掲載版は
 氏名公表を致しません。)

♪合格おめでとう♪ございます♪

次の検定は、
 数学検定...10 / 17(土曜)実施⇒申込は締切となりました。
 漢字検定...10 / 31(土曜)実施 9/24(木)申込締切
 ☆各教室にて申し込みを受付しております☆